- 企画書 -

生活リズムさん

寿司籠包

小倉・岩橋・劉・三木

◆ 生活習慣病とは

生活習慣病とは、

食事・運動・休養・喫煙・飲酒

... などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患のこと。

食事・運動 の悪習慣による疾患

⇒ 糖尿病、肥満症、高脂血症、高血圧症、大腸がん、歯周病

喫煙・飲酒 による疾患

⇒ 肺がん、慢性気管支炎、循環器疾患、肝硬変、脂肪肝

高齢者の中で、生活習慣病に含まれる疾患を 複数 患っている人が全体の 6割!

◆ 生活習慣病 にょる問題

医療費・介護費 の増加

⇒ 日本の年間の国民医療費・介護給付費は、共に増大しており、 これから高齢者が増加することを考えると、財政の破綻にも繋がると考えられ、それは阻止しなければならない。 ◆ 生活習慣病 への対策案

将来のことを考えて、

生活リズムを改善する

⇒ 生活の軸となる生活リズムを改善することで、生活習慣病になるリスクを減らす!!



◇睡眠◇

1日3食バランスよく摂る。

適切な回数と時間に寝る。

◆ 生活リズム を改善するメリット

節約ができる

⇒ 早く寝るため、電気・冷暖房代が節約できる

体調 が良くなる

⇒ 生産性が上がり、作業や仕事が捗る 病気になる確率が下がるため、医療費がかかりにくくなる ◆ 生活リズム の改善を促す方法

既存の健康に関連するアプリより、もっとたくさん使ってもらえるような、

今までにない 生活リズムを改善するアプリ を作る!!

▶ 既存の健康促進アプリの問題点の解決策

継続しない 楽しくない 面倒くさい 興味がない

協力してくれる 主要な動作は キャラクター

ワンタップ にする を作る

生活リズムによって 社会貢献度 を見える化

広告から 生活診断 をしてアプリへ ◆「 生活リズムさん 」とは

「生活リズムさん」と呼ばれるキャラクター達が、

利用者と一緒になって、生活リズムの改善を目指してくれるアプリ

- ◆ 「 生活リズムさん 」の特徴
 - ・アプリが就寝・起床・1日の終わりのタイミングで通知をし、応答したタイミングや内容を記録する。
 - ・就寝、起床、食事の記録の際に押すボタンは、「おやすみ」「おはよう」「たべた」というように、 簡易的に、動作はワンタップにするなど、面倒くささをなくすことで、続けて使ってもらえる。
 - ・1日の終わりに行う「生活チェック」の結果で、社会貢献度のグラフを表示することで、 モチベーションにも繋がり、楽しみながら生活リズムを改善できる。
 - ・SNS などの広告から Web 上で今の自分の生活診断ができ、
 その結果画面で、生活リズムが改善された時の効果を表示することで、使ってみようと思ってもらう。

◆ 「 生活リズムさん 」 1日の流れ



生活リズムさん (アプリ)

「生活チェック」とは?

1日の終わりに総合的な 生活のチェックを行い、 100 点満点で判定。 マイページで、

今までの比較や、 社会貢献度を確認できる。 18:00 に、

「生活チェックをしよう!」通知

ユーザが起きる時間に 設定した時間から逆算した時間に、

「もう寝よう!」通知

5:00 24:00 10:00 15:00 18:00



ユーザー

起きた時に、

「おはよう」ボタン を押す

ユーザが起きる時間に

設定した時間に、

「起きた?」通知

「**たべた**」ボタンを押す 「**たべた**」ボタンを押す

寝る時に、

「おやすみ」ボタンを押す

「生活チェック」ボタンを押し、 チェックをする

※ 朝と昼に「たべた」ボタンを押さなかった場合

⇒ 夜の「生活チェック」に食べたかどうかの項目が追加される。

※「たべた?」を通知をしない理由

⇒ 仕事や学校に行っている可能性が高い朝と昼は、 忙しく、ユーザが面倒くさく感じてしまうと考えたため。

※「おやすみ」ボタンを押さなかった場合

⇒ 朝の「起きた?」通知が、注意している内容になる

※ 生活チェックを 24 時までにしなかった場合

⇒ 朝アプリを起動すると、キャラクターが 怒って注意してくれる。続くと悪化していく。

- ◆ 「生活リズムさん」を使うことによるメリット
 - ・将来、生活習慣病にかかるリスクが減り、医療費が安くなる。電気代・冷暖房代が減らせる。
 - ⇒楽しんだり、違うことにお金をかけられてハッピー!
 - ・自分自身の生産性も上がり、仕事や作業が捗り、結果を残せる。
 - ⇒周りからの信頼度が上がることで、地位があがったリハッピー。
- ◆「生活リズムさん」による社会への効果
 - ・電気代、冷暖房代の削減 ⇒ エネルギーの節約 になる
 - ・医療製品の利用が現象 ⇒ 環境保護 に繋がる
 - ・生産性が向上 ⇒ 経済の向上に繋がる

 持続可能な開発目標 (SDGs) に、 定められている項目に働きかけることができる。





◆ 今後の発展

キャラと一緒に 運動面 で生活習慣病のリスクを減らせるようなコンテンツや、新たなアプリを開発。

- 参考文献 -

http://www.seikatsusyukanbyo.com/ https://www.healthcare.omron.co.jp/resource/column/qa/48.html https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html